

2021年8月25日

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記の検査項目を新たに受託開始させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

今後も弊社では皆様方のご要望にお応えできるよう、検査内容を充実させて参りますので、何卒お引き立ての程、宜しく願い申し上げます。

敬白

記

【新規受託項目】

| コードNo. (新システム / 従来システム) | 検査項目名 |
|----------------------------|---------------------------------|
| 13602 / 6082 | NTX-尿/CLEIA (1型コラーゲン架橋N-テロペプチド) |

1型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTX)は、骨基質の主要構成蛋白である1型コラーゲンの分解産物です。骨の再構築は骨代謝回転の一連の過程であり、3～5 か月周期で新しい細胞に入れ替わります。そのうち、破骨細胞による骨吸収が起こる際に産生される骨基質の1つが1型コラーゲンであり、N末端はNTX、C末端はCTXと呼ばれます。骨吸収されると、これらが血中に放出され、最終的には尿中に排泄されるため、NTXは骨吸収の特異的なマーカーの1つとされています。

この度、CLEIA法による検査試薬での受託を新たに開始いたします。

【開始時期】2021年9月1日(水) ご依頼分より

- 当該検査の受託開始に伴い、現行のNTX(尿)(EIA法)〈コード No.03716/3151〉は、2022年3月30日(水)ご依頼分をもちまして検査の受託中止を予定しております。

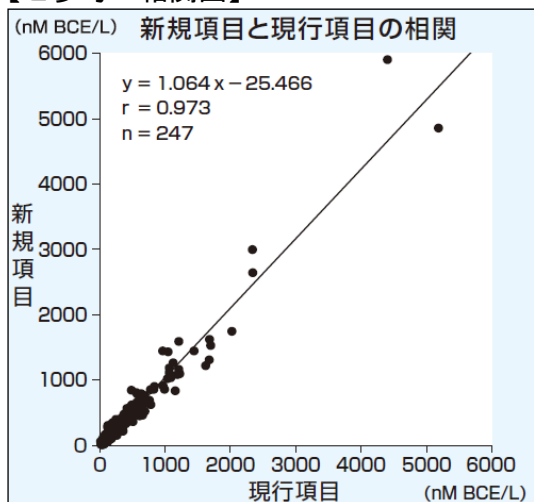
尚、詳細につきましては、営業担当者またはインフォメーションまでお問い合わせ下さい。

【受託要領】

| | | |
|-----------|---|---|
| 検査項目名 | NTX-尿/CLEIA(1型コラーゲン架橋N-テロペプチド) | |
| コード No. | (新システム) 13602(親) (子)22919 NTX濃度 (子)22920 NTX/Cre補正 | (従来システム) 6082(親) (子)6083 NTX濃度 (子)6084 NTX/Cre補正 |
| 検体量 | 尿(早朝第二尿) 2mL | |
| 採取容器 | H(尿用試験管) | |
| 保存方法 | 冷蔵 | |
| 検査方法 | CLEIA | |
| 基準範囲 | M(40~59才) : 13.0~66.2 nM BCE/mM・Cre F(閉経前30~44才) : 9.3~54.3 (閉経後45~79才) : 14.3~89.0 | |
| 単位 | NTX濃度 : nM BCE/L NTX/Cre補正 : nM BCE/mM・Cre | |
| 所要日数 | 3~5日 | |
| 検査実施料/判断料 | 156点 / 生化学的検査(Ⅱ) 144点 | |
| | <p>原発性副甲状腺機能亢進症の手術適応の決定、副甲状腺機能亢進症手術後の治療効果判定又は骨粗鬆症の薬剤治療方針の選択に際して実施された場合に算定する。なお、骨粗鬆症の薬剤治療方針の選択時に1回、その後6月以内の薬剤効果判定時に1回に限り、また薬剤治療方針を変更した時は変更後6月以内に1回に限り算定できる。</p> <p>1型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTX)、デオキシピリジリン(DPD)(尿)、オステオカルシン(OC)を併せて実施した場合はいずれか1つのみ算定する。</p> <p>乳癌、肺癌又は前立腺癌であると既に確定診断された患者について骨転移の診断のために検査を行い、検査の結果に基づいて計画的な治療管理を行った場合は、区分番号「B001」特定疾患治療管理料の「3」悪性腫瘍特異物質治療管理料の「ロ」を算定する。</p> | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> 副甲状腺摘出術の適応 : 200 nM BCE/mM・Cre 以上 悪性腫瘍(乳癌、肺癌、前立腺癌)の骨転移の指標 : 100 nM BCE/mM・Cre 以上 骨吸収亢進の指標 : 55 nM BCE/mM・Cre 以上 <p><骨粗鬆症薬剤治療の指標></p> <ul style="list-style-type: none"> 骨折高リスクの指標 : 54.3 nM BCE/mM・Cre 超過 骨量減少高リスクの指標 : 35.3 nM BCE/mM・Cre 以上 | |

《参考文献》 三浦雅一:骨と骨代謝 15, 271~280, 2002.

【ご参考：相関図】



(委託先検討資料)

以上